



創立 昭和34.6.9 承認 昭和34.6.27
 事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内
 電話 0235 (24) 7711
 例会場 鶴岡市馬場町 産業会館5階ホール
 例会日 毎週火曜日 午後12:30～1:30

第1497回例会 会報

1989 (平成1.2.28) 天候 曇

幹事 若生恒吉
 会長 市川輝雄
 クラブ奉仕 佐藤 昇

ロータリーに活力を—
 あなたの活力を
 PUT LIFE INTO ROTARY—
 YOUR LIFE

職業奉仕 佐藤 衛 社会奉仕 迎田 稔
 国際奉仕 松田士郎 青少年奉仕 碓水節雄

出席報告:会員 87 名 出席 61 名

出席率70.83% 前回出席率72.60%
 修正出席 71名 確定出席率86.30%

会長報告

市川輝雄君

- 24日は昭和天皇「大喪の礼」の日、悲しみの中にもおごそかな葬送の列をブラウン管を通じ謹んでお見送り致しました。大正天皇のご葬儀の日も寒かったそうですが、春浅い小雨の新宿御苑もまた身のひきしまる程の寒さだったようです。妙なる奏楽の響くなか、古装束の若者がかつぐ葱華輦が玉砂利をざらざらと踏み鳴らしつつゆく葬場殿の儀式。「御詠」ごるいとよばれる天皇陛下のご甲辞が口語体の平易なお言葉で私たちと同じ人の子としての別離の悲しみが満ち溢れ、そくそくとして心をうつものがありました。
- 25日、第2回の在鶴留学生、研修生との懇親会がグランドエル・サンで開かれました。9名の留学生研修生を迎え、38名の地元3クラブのロータリアンが出席し盛会でした。今世界に平和がよみがえりつつある時、国際間における寛容と友情、相互文化の尊重、良い伝統の保存、そして貧困と疫病の追放が私達ロータリアンの務めと挨拶しました。半年で帰国しなければならないので一日一日が貴重だという研修生の切実な声が耳につきました。鶴岡で蒔いた小さな種が各国で美しい花を咲

かせ実を結んでくれることでしょう。有意義な一夜でした。実行委員の塚原君、藤川君ご苦労様でした。

幹事報告

若生恒吉君

- 1. 3月定例理事会
 日時 3月7日 11:30AM
 場所 産業会館3階委員会室
- 2. 253地区より
 財団奨学金申請申込みについて
 1990～91年度当地区奨学生 本年6名
 優秀な候補者を会員からご推薦下さい。
 4月30日、クラブ最終締切とします。申込書は事務局にあります。
- 3. 当クラブ例会場変更
 3月14日、3月第2例会は職場訪問の為会場を東北電力(株)鶴岡営業所に変更。
 時間は従来通り。
- 4. 新会員氏名公表
 杉澤保吉君退会の為、後任の東北電力(株)鶴岡営業所所長三浦 勉君
 反対の方は今日より10日以内に文書で幹事まで送付下さい。推薦者 庄司嘉男君

ロータリアン日記 ○月○日

今年の稲作は、大変な凶作で実らない稲を焼き払うシーンも何回かテレビで放映された。幸いにして庄内地方では平年並みの収穫を得た。農業王国庄内の技術と農家の努力の賜物である。これが天保の時代であれば庄内といえども大凶作に見舞われ、飢饉に苦しんだに違いない。

現在は飽食の時代と言われ、何不自由ない食生活を謳歌しているが、この恵まれた時代に甘んじて良いのだろうかと思うことが多いのである。

先日、友と一献傾けながらの話してであるが我々が子供の頃のおやつについてのことである。

第二次世界大戦の最中の事として、おやつらしいものなどなかったが、心に残っている物に「しな餅あられ」が話題となった。あの芳ばしい味と硬い歯ざ

わりを思い起こしたのである。「しな」とは、まだ成熟しない青米のことで、それを粉にして蒸し、つき上げた物を「しな餅」と言う。つく時に酵素や色々な味を入れて薄く切り乾燥させて炭火で煎ったものが「しな餅あられ」である。昔はこの売物にならない「しな」を大事に集めて、手間を掛けて粉にし一軒の農家で数俵の「あられ」ついたそうである。それを田植の時のおやつとして「ぼり、ぼり、かり、かり」と噛みしめたのである。当時の人たちの歯や顎が強いのはこんな事も関係していると思われる。

我々は農家から貰ってきて食べた「しな餅あられ」に郷愁を感じているのであるが、今では作る家もなくなり、再び味わう事が出来ないと思う。現代の子供たちに食わせて、言い表せない味や物の大切さを噛み締めさせたいものである。 毛呂健士

青年会議所について



ただ今ご紹介をいただきました(社)鶴岡青年会議所今年度23代目理事長を務めます浅賀でございます。本日は鶴岡ロータリークラブの例会にお招きいただきまして、誠に有難うございます。折

角の機会でありますので、本日は、青年会議所という団体の概要と、本年度(社)鶴岡青年会議所の活動内容等をお話させていただきます。

青年会議所は、1920年代にアメリカで生れその後世界に広がった組織であり、国際的には60余年の歴史をもっております。

日本でのJ C(青年会議所)運動は、1949年東京青年会議所から始まりました。戦後の廃虚の中から生れて、これまでに40年近い歴史をもっていることとなります。現在会員総数は、6万4千人、会員資格は20才から40才までの青年ということで40才を越えると現役を退いてOBになります。このOB総数が約5万人ですから、現役とOBを加えると全体で11万人以上の組織ということになります。

組織の形態としては、原則として都市ごとに組織される地域青年会議所—LOM(ロム)といいますが、89年度で、745ロムあります。この数字からも分るように市部のみならずいくつかの町村が集った形でも組織されています。その上に県単位に「ブロック協議会」さらに全国を十ほどに分けて「地区協議会」そして全国的な連合組織として「社団法人・日本青年会議所」が置かれています。

現在山形県内には、17青年会議所があります。最近出来たところでは6年前に余目青年会議所があります。

青年会議所の性格としては、まず、地域の青年経済人たちの社交、親睦団体であるということです。それに加えて指導力開発ということを非常に重視し、「自己学習団体」という性格もあり、さらに、三番目に「社会開発」ということで社会奉仕活動、地域活動を行なっております。

先ほどお話いたしました40才定年ということの他に、もう一つ理事長以下全ての役員が一年とい

鶴岡青年会議所 理事長 浅賀 隆氏

う任期で、毎年役員が入れ替るというのも青年会議所の組織の特徴であります。

現在、「地域づくり」「町づくり」ということが言われていますが、青年会議所がそれぞれの地域で果す役割は大きいと考えています。現在54の市でJ CのOBが市長になっております。将来は、650ほどある市の三分の一ぐらいはJ CのOBになるのではないのでしょうか。議員も各市でJ CのOBが三分の一ぐらいは占めるようになると思います。青年経済人たちの自己修練の場としても非常に大きな役割を果していますが、又各市町村に根ざした潜在力の高い団体にしていく必要があります。

今年度鶴岡青年会議所は、104名のメンバーでスタートしております。「今、情熱ある行動、人に、地域に、和が城下町鶴岡に」というスローガンのもと4つの基本方針を出しております。

基本方針

1. 地域の特性を生かしたビジョンあるまちづくりの推進
2. 地域の次代を担う人づくりの推進
3. 魅力ある活力ある組織運営の推進
4. 全城開催に向けて基本計画策定とその推進

重点事業として

1. ふるさとまつりの展開
8月に開催されます、ふるさとまつりへの参加。一夜城の築城等、城下町らしい雰囲気のあるイベントの開催。
1. 青少年育成事業の推進
子供達を主体にした7月に行なわれるポニーキャンプで高校生のカウンセラー育成等、地域の次代を担うリーダーの育成事業。
1. 地域間交流の推進(四全総の中にもある)
我が庄内地域に於て、庄内空港、東北横断道酒田線、また日本海沿岸自動車道と、ここ10年間の間に実現または推進されるものと思われます。四全総の中にもある様に、地域発展を目指し、また、自分達の地域を見直し、その良さを再認識するためにも今後増々地域間交流が重要であります。青年会議所の中でも毎年、各市町村の行政の方々からお集りを願いまして、各々開催されているイベント等をお話しい町づくりの方向性を見出すという事

を進めています。

1. 全城連シンポジウム開催に向けてプレキャンペーンの開催

①全国藩校会議（89年は東北藩校会議）

②市民夕べの集い（第2回目）

6月9日 イルカコンサート

竹下内閣での「ふるさと創生」という意味での各市町村への1億円の分配ということで、今その使い方が議論されていますが、青年会議所では、市の方から青年会議所らしい使い方の企画を出して下さいとの要望に

①全国藩校会議

②大名行列の完全復活（衣装、道具の完全復活）の二つの企画を出させていただきました。

ここで先ほど全城連という言葉を使いましたが、皆さんも御存知の様に、全国城下町シンポジウムが来年1990年、この鶴岡で開催されることが決定しており、今その準備作業を進めております。全城連、詳しくは「全国城下町青年会議所連絡協議会」というのが正式名称で、そのメイン事業となり、総会の場となるのが「全城連シンポジウム」です。何故当青年会議所が、これに加盟し、この大会を鶴岡市に誘致したかは詳しくは時間の

関係で述べられないのですが、元々この組織というのは「城下町をなんとかしたい」という青年会議所のメンバーが、年に一度集り著名な講師を迎えディスカッションを通してその時代に即した形で地域づくりにおいて有益なノウハウの交換を目的にしておりました。過去、1982年長野県松本から始まり、②金沢、③会津若松、④小田原、⑤弘前、⑥犬山、⑦彦根、今年度は、7月8日、9日と四国高松で開催されます。大会の規模は、青年会議所メンバーだけで全国から1500名、これに行政関係や観光関係を見込むとすると2000人以上が全国より開催都市に集るということとなります。当青年会議所22年の歴史の中では、初めての全国レベルの事業でありますし、鶴岡市にとっても広く当市をPRできる絶好の機会であります。企画面では、数多く考えていますが、必要なことは、他の開催都市が行なったように全市上げての取り組みと共感を得るための努力かと思えます。今、私たちの世代で成し得る事を精一杯やりたいと考えております。なにとぞよろしくお願い致します。

これを機会に当鶴岡青年会議所への増々のご協力、ご指導をお願い申し上げます。

会員スピーチ

ロータリー創立記念

国際ロータリー創立と変遷の概略

中江亮君



時間の制約で大枝を切り小枝をもぎ肉まで削ったロータリーの木の枝振りははじめであります。布施委員長のお話をお話致します。

最初に申し上げたいことは初期ロータリーを知るのに資料が割合少ないため記録に基づかない推測が生れるようですがこれは、創立当時誰もがロータリーが今日のように大きくなるとは予測しなかったからであります。昭和10年に来日したポールもこれを認めた発言をしています。新しい会員の方がかなり増えて来ましたので初期のお話から入りたいと思いますが、多分時間がないと思うので人名、地名等適当に割愛させて三段跳方式のお話なることをご了承下さい。

〈ポールの生い立ち〉

御存知の様に国際ロータリーの創始者はアメリカ、ヴァーモント州生れのポール・ハリスであります。1868年（明治元年）の生れですが、日本ロータリーの創立者米山梅吉と偶然にも同じ年です。

ポールは3才の時から親元を離れて祖父母の許に引き取られるが、父親の雑貨商は倒産を繰り返すため家族は再会、離別を繰り返すのでありますが、何故かポールはかなりの腕白小僧で近所でトラブルが起きるとポールの名が出た程でありました。

幼年学校に入っては教師を困らせ、大学に入っては学生暴力に絡んで退学処分を受ける等、ポールはかなりの逆境にあった様であります。その後大学を出て弁護士の試験に合格するが、間もなく彼は、長い放浪の旅に出て行ったのが有名な“五年間の愚行”であります。（five years foolery）

(偶然にも米山梅吉も中学を中退すると三島の養父の家から無断で東京に出奔し4年後に養父と再会した。米山4年の愚行と言えれば叱られかねない。)

ポールは新聞社の通信員から始めて、農場の労働者かと思うと、ロス商科大学の講師、俳優、新聞記者、カウボーイ、ホテルの夜間事務員と渡り歩いてクラークという心の友となる人の大理石会社に働く。

やがて彼はイギリス渡航を思いつき港湾の工夫として働き、英国行き貨物船に乗るが運悪いことにこの船は荷をおろすとすぐアメリカに引き返したのでポールはイギリス旅行の夢を果たせなかった。

彼は再び職を求めて転々と放浪を続けるが遂に職にありつけず、先のクラークの会社に戻って、アメリカ、南米諸州、キューバ、ヨーロッパ各国を出張の形で旅をするがこれを最後にシカゴに住みつくのであります。貴重な人生の旅であったと思います。

この遍歴がもたらした豊かな経験を持ちながらポールは大都会のシカゴで“心の友がない”と云う寂しさに耐え乍ら……頭の中では……“この大都会の中で多くの異なった職業から1業1名を以て組織し、政治、宗教の制約から離れて集う……親睦……があれば、すばらしいだろう”と常に考えていました。

〈クラブの創立〉

5年間煮詰めたポールは1905.2.23、4人の友人と会合を持ち、構想を打ち明けたのであります。後にこの日を国際ロータリー創立の日と定められたのであります。(但し、ポールは初代会長ではなかった。)今日と違って月1.2回程度の例会でありましたが数回の例会を経る中に、食事、ソング、卓話等が取入れられ、4回連続欠席に依る会員身分の失格のルール、クラブを拘束する案件に対する理事会の先議権等が決められました。(木材商とレンガ業者のトラブルから)

〈奉仕概念の芽生え〉

シカゴロータリークラブの定款綱領の要旨は、会員の相互扶助、互惠主義と云う原則から会員の相互取引が義務付けられ原価主義を採用した。

勿論最初の内は物質的なものであったが、親睦が深まるにつれて、互に企業上の悩み事を持ちよって相談し、助け合う精神面が生まれて来たのであります。この精神面の相互扶助こそがロータリーン同志が各自の職業上の問題点について理解し合い、他人の不幸を自己の立場で捉えて考えようと

する極めてレベルの高い道德上の境地であると云われ、一般社会への奉仕の概念として転化し社会奉仕のビジョンが明確になる基本であります。しかし、この互惠主義は間もなく崩れて行く。即ちある入会を進められた者が“この互惠主義は単にクラブ内の利益交換の場に過ぎない”と云って入会を断った。急いで定款が改正され、物質主義を排除して対社会性の奉仕の概念を導入したのであります。

〈行動の指針〉

ロータリーン個々の行動の指針として 綱領、2つの標語、4つのテスト、道德律(倫理訓)、決議23-34等があります

2つの標語

・最も良く奉仕する者は最も良く報われる。

(He profits most who serve best)

・超我の奉仕 (Serve not self)

—共に1911年採択された。—
であります。前者は奉仕と云う精神面の境地の開拓が売手と買手双方を満足させる商売の利潤と倫理関係を説くのに対し、後者は自己否定、自己滅却の精神世界、即ち宗教の世界に到達することのみをロータリー奉仕の理念と考えている様で矛盾が対立していると指摘されています。即ち前者の He profits は精神面のみでなく物質面も決して否定しないと提唱者が云う通り、物質面の報いの強調に対して批判され、最近ではクラブ内部の標語のみにとどめて外部にはPRしないと云うことになっています。

又、後者は自己滅却の宗教性が強調され過ぎているために not self を above self に置き変えられました。

道德律はロータリーの理論武装の総結集とも云える、11条から成るもので難し過ぎて現実的でないことから一時は、その配付を中止したのですが近年条件付き乍ら復活した様であります。

・決議23-34

1923年にシカゴクラブは、青少年活動委員会と身体障害児委員会を作り、活発な奉仕活動をするがこれを全国的に拡大すべきだと提案されたことから問題となった。—即ち—

各クラブが団体名を用いて団体行動をすることは万一失敗した時に、ロータリーの無能を嘲笑されることになりかねない。むしろ問題の重要性を指摘し、世論を喚起し、或いはクラブ会員の奉仕を奨励するのがロータリーの本来の趣旨だとする勢力に対し、既に団体行動の実績を持つクラブから敢えてクラブの名を用いるものではないが必要止

むを得ない時はクラブ名を以て救済することは趣旨に反しないと主張する。この2大論争がセントルイスの大会にかけられ史上最大の論争でロータリー分裂の危機をはらんだのであります。即ち、

- ①クラブはその奉仕活動について完全な自主独立性を有する。
- ②他のクラブはこれに干渉してはいけない。
- ③しかし各クラブは他のクラブの実験例を軽視しないこと。

斯くしてロータリーの社会奉仕の概念が明確に確立されましたが種々クラブの団体的活動に対して一定の条件をつけているのが随所に見られます。(全文6条)

又国際ロータリー(R.I)に対しては— R.Iは一般的な奉仕活動を研究して有益な情報をクラブに与えることがあっても決してクラブのいかなる社会奉仕活動に対しても命令したり、禁止してはならないと明記してあります。しかし、最近になってR.Iはこの決議23-34に縛られることは時代の変化に適しないとして、これを葬り去ろうと1986年のシカゴの規定審議会で画策をしたが、これが災いして日本の反発を買うことになったら、ポリオプラスの募金を日本に期待することが難しくなることを考慮して急いで提案を取り下げたと日本側のメンバーが指摘しています。

〈日本のロータリー〉

1920年(大正9年)東京にロータリークラブが誕生しましたが、これは、フィリピン、インドに次いで東洋では、3番目のクラブであり、福島喜三次と米山梅吉の努力で創立されたものであります。(米山は創立者には違いないが、日本人としての初のロータリアン福島喜三次であります。)

初期の日本のロータリークラブは貴族趣味であったのは初代会長米山梅吉の地位と環境の影響を受けていることもうなずけられるが、しかし、1業1会員制で少数の会員で作られるクラブには勢い各業界のエリートクラスから政官界の大物によって占められることを考えれば止むを得ないことかもしれません。

日本のロータリアンの増加の特徴はクラブ内部拡大による増強よりはむしろ子クラブを作る外部拡大方式に頼っているが、10万人を越えた日本のロータリーは庶民的なものへと脱皮を続けているのが事実であります。

しかし、職業奉仕の面に於ては観念的な理解を示していながら、クラブの活動に於て何も実践されていないと批判されています。この原因を分析する人は、“シカゴクラブ初期のあの物質的互恵

主義から精神的相互扶助へと移行する過程の暗中模索の中から得た体験と反省の経験がない為だと指摘しています。

第2次大戦時軍の弾圧により日本ロータリークラブは解散させられ東京クラブで米山が涙ながらに挨拶をした事は有名な話であるが、名称を変えて地下潜行の形で会合を続け戦後、1949年(昭和24年)3月23日、G.H.Qの了解を得て東京仮R.Cが出来たのであります。吉田首相が祝辞を読み、マッカーサー元師が名誉会員になったのであります。

〈結 び〉

結論として、ロータリーの奉仕活動は常に親睦と齒車を噛み合わせなくては、成り立たないことであります。即ち、奉仕を優先させるべきではなく親睦の道から入るべきで、更に親睦のエネルギーを奉仕活動へ転化させることは当然の事でありませう。ポールは“共通の仕事に協力せよ。意見異なる時は、敢えて議論することなく親睦の深まるを待て”と云っています。

“ロータリーは人生の道場だ”と米山は述べています。又、アメリカのあるクラブの例会場の入口と出口には夫々、“入りて学び、出でて奉仕せよ”

“Enter to learn. Go forth to serve”と書いているは分り易くて面白い。ロータリーを吉田松蔭の松下村塾に例える人もいます。

考えれば、考える程突きとめようとしても無限で尽きない不思議な魅力を持つロータリー思想の行着く所は、宗教の境地だとも云われているのであります。

スマイル

佐々木 彦君 昨日塚原教授より山からの帰りに幼稚園の子供達にと花をたくさんいただきました。ちょうど雛祭でもありますので春が来たお使いとして皆様にも喜びを分かちたいと思います。

清水二郎君 本日誕生祝いをいただきましたが、本当は2月14日のバレンタインデーの日です。ちょうど例会日でもありお祝いしていただくのが、おこがましく思いましたので、ついつい欠席いたしました。又、入学試験が無事終わりましたので。

秋元順雄君 本日紅花国体に向けての特別強化指定の内示を受けました。男子バレー部、重量挙部（ウェイトリフティング部）、男女柔道部（個人指定）であります。又、校名変更の認可が本日おりまして、学校法人羽黒学園羽黒高等学校と校名が、4月より変わります。宜しくお願い申し上げます。

阿部信矢君 私の所属する委員会が親睦委員会とは知りませんでした。大変申し訳なく思っています。又、明日次女が高校を無事卒業致します。

村中文章君 鶴岡市の小真木原総合体育館もいよいよ着工した訳ですが、当社で電気設備工事を受注致しました。

塚原初男君 先日の第二回鶴岡在住留学生を囲む会に盛大に参加させていただきました。

松澤主一君 二月の例会を二週続けて所用のため欠席しました。出席委員会の皆様の出席率を低下させましたことをお詫びします。

松田士郎君 五月に韓国のソウルで開催される世界大会の参加申し込みを今日で締切とさせていただきます。参加者は鶴岡RC（8名）、鶴岡西RC（5名）鶴岡東RC（8名）、合計21名です。又、私の次女が私立大学を合格いたしました。

御橋義諦君 2月26日、文化会館で鶴岡出身佐藤敏直氏の作曲した『交響讃歌やまがた』の発表会に

合唱団員として、テノールで参加でき、気分は爽快でありました。

石川寿男君 本日は、多数の方からスマイルをいただいたことに感謝して。

ゲスト

鶴岡青年会議所 理事長 浅賀 隆 様

ビジター

立川RC 滝 禅 源 君
鶴岡西RC 瀬尾助三郎君

14日（火）のプログラム予定

職場訪問
東北電力(株)鶴岡営業所



MEMBER'S CORNER

整形外科 諸橋医院

諸橋 政 積

鶴岡市泉町 8 番 66 号

電話 (23) 5 7 3 1
(24) 0 8 1 5

◆供養の心を石に託して◆

総合石材
設計施工

鈴 鈴 木 石 材
鈴 木 茂 男

自宅 鶴岡市神明町 7-27 (旧天神町)
電話 <0235> 23-3423
工場 鶴岡市伊勢横内 (112バイパス通り)
電話 <0235> 25-1255

ポリオプラスを成功させよう 世界社会奉仕委員会